

事務事業評価シート1

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 1010000 総合政策部企画課
 短縮番号 01270 北部地域振興交流拠点施設（仮称）推進事業

【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画		
政策	006	快適で暮らしやすいまち		
政策達成課題	001	安全で快適な魅力あるまちをつくる		
施策	001	魅力的な中心市街地を整備する		
施策達成課題	001	魅力的な中心市街地を整備する		
基本事務事業	003	北部地域振興交流拠点施設（仮称）推進事業		
詳細事務事業	001	北部地域振興交流拠点施設（仮称）推進事業		

事業期間	平成28年度～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄		事業の分類			

根拠法令等	
課題・分析	北部地域振興交流拠点施設（仮称）の推進については、産業支援施設と市民活動及び県北地域の活性化を図る拠点施設に、新県立図書館を一体整備する方向で、県、市で協力しながら検討を進めてきた。平成29年2月の県議会で、埼玉県5か年計画への文言整理や予算執行の凍結という審議結果が示されたところであるが、令和3年度に策定された埼玉県5か年計画には北部拠点の記載が復元されているため、県と調整しながら整備手法も含めて検討する。

【事業分析】

対象	旧テクノグリーンセンター事業用地（本町二丁目内）
目的	北部地域振興交流拠点施設（仮称）を整備するために必要な調査・検討を行う。
手段	調整会議を実施する。
その他	

【コスト】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	830	993	150	150	0	0	0
事業費	0	159	150	150	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	159	150	150	0	0	0
人件費計	830	834	0	0	0	0	0
一般職員（人）	0.11	0.11	0.44	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-02-01-07-49-01-00-00	北部地域振興交流拠点施設（仮称）推進事業	総合政策部企画課

事務事業評価シート2

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 1010000 総合政策部企画課
 短縮番号 01270 北部地域振興交流拠点施設（仮称）推進事業

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値							下段：実績値
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	

【定性評価】

1	事中評価	カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
				5	1	
		事業の優先度	5 4 3 2 1	他の事務事業に優先して実施する必要がある 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある どちらかといえば、実施したほうがよい 目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	4	
		理由				
		2	事業の必要性	5 4 3 2 1	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	2
		理由				
		3	事業主体の妥当性	5 4 3 2 1	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	4
		理由				
		4	事業の対象者	5 4 3 2 1	直接の対象は、すべての市民又は団体である 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	5
		理由				
		5	市民ニーズの把握	5 4 3 2 1	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している 事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	2
		理由				

【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント (400文字)			

【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント (400文字)			

事務事業評価シート1

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 3510000 産業振興部商業観光課
 短縮番号 01285 「中心市街地活性化」まちづくり会社業務支援事業

【基本情報】	
計画回数	04 第二次総合振興計画／後期基本計画
政策	006 快適で暮らしやすいまち
政策達成課題	001 安全で快適な魅力あるまちをつくる
施策	001 魅力的な中心市街地を整備する
施策達成課題	001 魅力的な中心市街地を整備する
基本事務事業	014 「中心市街地活性化」まちづくり会社業務支援事業
詳細事務事業	001 「中心市街地活性化」まちづくり会社業務支援事業

事業期間	平成25年度～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	臨時
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	業務経費		

根拠法令等 中心市街地の活性化に関する法律・熊谷市中心市街地活性化事業費補助金交付要綱
 有効性、効率性とも好評価のため、継続実施する

課題・分析

【事業分析】	
対象	まちづくり会社
目的	中心市街地活性化のため
手段	設立出資、活性化業務の委託、運営経費及び事業費の補助
その他	

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		10,898	9,160	12,160	12,160	0	0	0
事業費		8,860	9,160	12,160	12,160	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0
一般財源		8,860	9,160	12,160	12,160	0	0	0
人件費計		2,038	0	0	0	0	0	0
一般職員(人)		0.27	0.18	0.30	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-07-01-02-29-01-00-00	「中心市街地活性化」まちづくり会社業務支援事業	産業振興部商業観光課

事務事業評価シート2

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 3510000 産業振興部商業観光課
 短縮番号 01285 「中心市街地活性化」まちづくり会社業務支援事業

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
歩行者・自転車通行量(休日)	人	25,000.00 9,664.00	25,000.00 11,375.00	25,000.00 0.00	25,000.00 0.00	25,000.00 0.00	25,000.00 0.00	25,000.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】		カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5 4 3 2 1	他の事務事業に優先して実施する必要がある 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある どちらかといえば、実施したほうがよい 目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	4
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5 4 3 2 1	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	2
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5 4 3 2 1	他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	3
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5 4 3 2 1	直接の対象は、すべての市民又は団体である 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	5
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5 4 3 2 1	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している 事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	3
	理由				

【1次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント(400文字)			

【2次評価結果】			
事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント(400文字)			

事務事業評価シート1

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 3510000 産業振興部商業観光課
 短縮番号 01286 「総合戦略」中心市街地活性化活動支援事業

【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画			
政策	006	快適で暮らしやすいまち			
政策達成課題	001	安全で快適な魅力あるまちをつくる			
施策	001	魅力的な中心市街地を整備する			
施策達成課題	001	魅力的な中心市街地を整備する			
基本事務事業	015	「総合戦略」中心市街地活性化活動支援事業			
詳細事務事業	001	「総合戦略」中心市街地活性化活動支援事業			
事業期間	平成25年度～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定外事務		
根拠法令等	中心市街地の活性化に関する法律・熊谷市中心市街地活性化事業費補助金交付要綱				
課題・分析	大型商業施設と専門店の連携・協体制の構築により、商店街を構成する専門店の魅力アップを支援し、市内商業の競争力強化及び集客力向上により市内商業の活性化を図る必要がある。				

【事業分析】

対象	まちなかモール委員会、中心市街地の大型商業施設
目的	中心市街地活性化の活性化
手段	中心市街地の大型商業施設5館が実施する共同販売促進事業を支援するとともに、まちなかモール委員会等の活動を支援する。
その他	

【コスト】 (単位：千円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	6,626	6,127	5,880	5,880	0	0	0
事業費	3,456	3,851	5,880	5,880	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	3,456	3,851	5,880	5,880	0	0	0
人件費計	3,170	2,276	0	0	0	0	0
一般職員(人)	0.42	0.30	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-07-01-02-41-01-00-00	「総合戦略」中心市街地活性化活動支援事業	産業振興部商業観光課

事務事業評価シート2

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 3510000 産業振興部商業観光課
 短縮番号 01286 「総合戦略」中心市街地活性化活動支援事業

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値							
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
事業実施数	件	10.00 4.00	10.00 6.00	10.00 0.00	10.00 0.00	10.00 0.00	10.00 0.00	10.00 0.00	
歩行者・自転車通行量(休日)	人	25,000.00 9,664.00	25,000.00 11,375.00	25,000.00 0.00	25,000.00 0.00	25,000.00 0.00	25,000.00 0.00	25,000.00 0.00	
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク	
1 事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
		4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
		3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
		2	目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
		1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
理由				
2 事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	2
		4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
		3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
		2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
		1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
理由				
3 事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし	3
		4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
		3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
		2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
		1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
理由				
4 事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
		4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
		3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
		2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
		1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
理由				
5 事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している	4
		4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している	
		3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
		2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
		1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
理由				

【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性
1次コメント(400文字)		

【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性
2次コメント(400文字)		

事務事業評価シート1

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 3510000 産業振興部商業観光課
 短縮番号 01330 「中心市街地活性化」利便施設運営費補助事業

【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画	
政策	006	快適で暮らしやすいまち	
政策達成課題	001	安全で快適な魅力あるまちをつくる	
施策	001	魅力的な中心市街地を整備する	
施策達成課題	001	魅力的な中心市街地を整備する	
基本事務事業	017	「中心市街地活性化」利便施設運営費補助事業	
詳細事務事業	001	「中心市街地活性化」利便施設運営費補助事業	

事業期間	平成25年度～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	臨時
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	業務経費		

根拠法令等	熊谷市内に存する中核的施設及び中心市街地活性化基本計画に定められた施設に対する運営費補助金交付要綱				
課題・分析	補助の目的は、駅送迎車両が駅前広場に滞留することによる混雑を緩和するためのティアラ21駐車場の30分無料化や東口自由通路の維持管理に対するものであるが、その趣旨が広く理解されていない。				

【事業分析】

対象	(株)ティアラ21				
目的	中心市街地活性化に寄与するティアラ21の駐車場運営等に対し、平成16年11月から令和6年10月まで補助する。				
手段	毎年、事業に要した経費のうち3,000万円を限度として補助する。				
その他					

【コスト】

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	30,377	30,379	30,000	30,000	0	0	0
事業費	30,000	30,000	30,000	30,000	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	30,000	30,000	30,000	30,000	0	0	0
人件費計	377	379	0	0	0	0	0
一般職員(人)	0.05	0.05	0.15	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-07-01-02-28-01-00-00	「中心市街地活性化」利便施設運営費補助事業	産業振興部商業観光課

事務事業評価シート2

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 3510000 産業振興部商業観光課
 短縮番号 01330 「中心市街地活性化」利便施設運営費補助事業

【定量評価】

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
年間売上額	千円	355,068.00	355,068.00	355,068.00	355,068.00	355,068.00	355,068.00	355,068.00
駐車場利用台数	台	206,114.00	206,114.00	206,114.00	206,114.00	206,114.00	206,114.00	206,114.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
		5	1	
1 事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
		4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
		3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
		2	目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
		1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
理由				
2 事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	3
		4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
		3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
		2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
		1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
理由				
3 事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし	5
		4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
		3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
		2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
		1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
理由				
4 事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	3
		4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
		3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
		2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
		1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
理由				
5 事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している	1
		4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している	
		3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
		2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
		1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
理由				

【1次評価結果】

事業の方向性	手段変更	予算の方向性	
1次コメント(400文字)			

【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント(400文字)			

事務事業評価シート1

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 4010000 都市整備部都市計画課
 短縮番号 00437 市街地等開発推進事業

【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画		
政策	006	快適で暮らしやすいまち		
政策達成課題	001	安全で快適な魅力あるまちをつくる		
施策	001	魅力的な中心市街地を整備する		
施策達成課題	001	魅力的な中心市街地を整備する		
基本事務事業	001	市街地等開発推進事業		
詳細事務事業	001	市街地等開発推進事業		

事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		

根拠法令等 都市再開発法、土地区画整理法、マンション建替えの円滑等に関する法律

課題・分析 現在、上之土地区画整理事業、上石第一土地区画整理事業、籠原中央第一土地区画整理事業の3地区で施行中。

【事業分析】

対象	市民
目的	市街地等開発事業の推進及び誘導。
手段	市街地等開発事業について、県との協議及び調整並びに研修会へ参加する。
その他	土地区画整理事業や市街地再開発事業を始めとする面的整備事業を活用し、地域の特色を生かしたまちづくりを進める。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	6,077	12,762	453	478	0	0	0
事業費	265	318	453	478	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	265	318	453	478	0	0	0
人件費計	5,812	12,444	0	0	0	0	0
一般職員(人)	0.77	1.64	1.85	1.36	1.36	1.36	1.36
会計年度嘱託職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-04-07-02-01-00-00	市街地等開発推進事業	都市整備部都市計画課

事務事業評価シート2

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 4010000 都市整備部都市計画課
 短縮番号 00437 市街地等開発推進事業

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値							下段：実績値
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	
市街地等開発事業（土地区画整理事業数）	地区	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	
		3.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

1	事中評価	カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
				5	4	
1	事中評価	事業の優先度	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
				4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
				3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
				2	目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
				1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
2	事中評価	事業の必要性	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
				4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
				3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
				2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
				1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
3	事中評価	事業主体の妥当性	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
				4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
				3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
				2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
				1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
4	事中評価	事業の対象者	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	3
				4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
				3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
				2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
				1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
5	事中評価	市民ニーズの把握	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している	4
				4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している	
				3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
				2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
				1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	

【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性
1次コメント (400文字)		

【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性
2次コメント (400文字)		

事務事業評価シート1

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 0520000 市長公室政策調査課
 短縮番号 01802 「総合戦略」スマートシティ推進事業

【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画		
政策	006	快適で暮らしやすいまち		
政策達成課題	001	安全で快適な魅力あるまちをつくる		
施策	002	暮らしやすく、個性あるまちづくりを推進する		
施策達成課題	001	暮らしやすく、個性あるまちづくりを推進する		
基本事務事業	011	「総合戦略」スマートシティ推進事業		
詳細事務事業	001	「総合戦略」スマートシティ推進事業		

事業期間	令和 2年度 ～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄		事業の分類			

根拠法令等	
課題・分析	人口減少や暑さ対策日本一のまちづくり、災害に強いまちづくり等、まちづくりの諸課題に対応するため、ICT等の新技術を活用しつつ、マネジメント（計画、整備、管理・運営等）を行い、課題解決を図る新しいまちづくりが必要となっている。

【事業分析】

対象	市内全域
目的	AI・IoTを活用した新しいまちづくりや行政効率化の推進により、地域の魅力と持続可能性の向上を図る。
手段	熊谷スマートシティ推進協議会の運営、政策システムの立案・システム連携に係る検討等
その他	

【コスト】

	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度		令和 7年度		令和 8年度		令和 9年度	
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額	計画額	計画額	計画額	計画額	計画額	計画額	
トータルコスト	13,468	73,096	292,374	144,362	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
事業費	259	50,332	292,374	144,362	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
国庫支出金	0	17,489	195,026	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県支出金	0	4,400	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源	259	28,443	97,348	144,362	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
人件費計	13,209	22,764	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般職員（人）	1.75	3.00	4.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
その他経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-02-01-07-78-01-00-00	「総合戦略」スマートシティ推進事業	総合政策部企画課

事務事業評価シート2

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 0520000 市長公室政策調査課
 短縮番号 01802 「総合戦略」スマートシティ推進事業

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値							下段：実績値
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	

【定性評価】

1	事中評価	カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
				5	1	
		事業の優先度	5 4 3 2 1	他の事務事業に優先して実施する必要がある 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある どちらかといえば、実施したほうがよい 目的がある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	5	
		理由				
		2	事業の必要性	5 4 3 2 1	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	2
		理由				
		3	事業主体の妥当性	5 4 3 2 1	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	3
		理由				
		4	事業の対象者	5 4 3 2 1	直接の対象は、すべての市民又は団体である 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	4
		理由				
		5	市民ニーズの把握	5 4 3 2 1	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している 事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	5
		理由				

【1次評価結果】

事業の方向性	事業拡大	予算の方向性	
1次コメント (400文字)			

【2次評価結果】

事業の方向性	事業拡大	予算の方向性	
2次コメント (400文字)			

事務事業評価シート1

評価年度 令和4年度 進捗区分 2次評価
 所属 3511000 産業振興部東部地域開発推進室
 短縮番号 01316 「総合戦略」ソシオ流通センター駅周辺整備事業

【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画	
政策	006	快適で暮らしやすいまち	
政策達成課題	001	安全で快適な魅力あるまちをつくる	
施策	002	暮らしやすく、個性あるまちづくりを推進する	
施策達成課題	001	暮らしやすく、個性あるまちづくりを推進する	
基本事務事業	004	「総合戦略」ソシオ流通センター駅周辺整備事業	
詳細事務事業	001	「総合戦略」ソシオ流通センター駅周辺整備事業	

事業期間	平成26年度～令和10年度	15年間			
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		

根拠法令等	都市計画法、土地区画整理法、農地法
課題・分析	池上地区「道の駅」整備事業と密接な関連があり、それぞれの都市計画変更手続、市街化区域編入に向けた関係機関との協議、調整を早急に進める必要がある。 当該地区における区画整理事業を推進するための、関係機関協議資料作成、都市計画変更資料作成、路線測量、街区確定測量、事業認可申請書作成等を行う必要がある。

【事業分析】

対象	・地区内の土地・家屋所有者、住民及び事業者 ・その他協議先（埼玉県（都市整備部・農林部））
目的	第2次総合振興計画において産業拠点として位置付けた佐谷田地区（流通センター地区（約32ha）、ソシオ流通センター駅周辺地区（約14ha）、新市街地地区（約21ha）、県道熊谷羽生線沿線地区（約5.7ha））のまちづくりを進めるため、ソシオ流通センター駅周辺地区について、市街化区域に編入するとともに区画整理事業等により基盤整備を担保する。
手段	当地区の開発を推進させるため、ソシオ流通センター駅周辺区域について、関係機関協議や地権者等説明会等で使用する事業計画（素案）の作成や、地権者意向調査を実施し分析する。
その他	平成28年度 土地区画整理事業の事業成立性の検証、整備方針の決定、平成29年度 都市計画変更資料作成、代表者会議の設置 平成30年度 測量業務、権利者等調査、平成31年度 土地利用計画（案）、交通量調査、基本設計、事業計画書（素案）令和2年度 基本設計（修正）地区界測量、街区確定測量（計算） 令和3年度 換地設計準備 令和4年度 想定換地、暫定換地割込み、基本設計（雨水管）

【コスト】

	（単位：千円）						
	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額	令和6年度 計画額	令和7年度 計画額	令和8年度 計画額	令和9年度 計画額
トータルコスト	63,273	30,645	4,000	5,320	0	0	0
事業費	42,516	9,778	4,000	5,320	0	0	0
国庫支出金	4,829	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	37,687	9,778	4,000	5,320	0	0	0
人件費計	20,757	20,867	0	0	0	0	0
一般職員（人）	2.75	2.50	2.50	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-04-01-30-01-00-00	「総合戦略」ソシオ流通センター駅周辺整備事業	産業振興部東部地域開発推進室
01-08-04-01-31-01-00-00	佐谷田地区新駅周辺整備事業	都市整備部都市計画課

事務事業評価シート2

評価年度 令和4年度 進捗区分 2次評価
 所属 3511000 産業振興部東部地域開発推進室
 短縮番号 01316 「総合戦略」ソシオ流通センター駅周辺整備事業

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値							下段：実績値
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
事業計画の策定（進捗率）	%	80.00	90.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
地元合意形成状況【全体説明会の開催】	%	90.00	95.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00

【定性評価】

1	カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
			5	4	
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2	目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	3
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	3
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している	3
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	

【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント（400文字）	令和4年度から5年度にかけて、都市計画変更及び土地区画整理事業認可取得に関する法手続を行うため、都市計画図書及び地区界測定の修正を行い、引き続き関係機関協議及び地元の合意形成を進めてきたところであるが、埼玉県及び国における協議などにおいて、当初の予定より時間がかかっているため、事業移管については令和6年度以降となる見込みである。事業完了を目指し、都市計画決定及び事業認可の手続きを進める。		

【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント（400文字）			

事務事業評価シート1

評価年度 令和4年度 進捗区分 2次評価
所属 4510000 建設部管理課
短縮番号 00345 地籍調査事業

【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画		
政策	006	快適で暮らしやすいまち		
政策達成課題	001	安全で快適な魅力あるまちをつくる		
施策	002	暮らしやすく、個性あるまちづくりを推進する		
施策達成課題	001	暮らしやすく、個性あるまちづくりを推進する		
基本事務事業	014	地籍調査事業		
詳細事務事業	001	地籍調査事業		

事業期間	平成17年度～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	補助	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		

根拠法令等 国土調査法、国土調査法施行令、地籍調査作業規程準則 同運用基準、不動産登記法、土地基本法

課題・分析 国・県からの補助金の配当額に応じ、計画した地区割りに準じて実施した。

【事業分析】

対象	地籍調査事業実施区域
目的	国土の開発及び利用等に資するため、国土の実態を科学的かつ総合的に調査するもので、その成果は、不動産登記行政の基礎資料として活用され、土地の権利関係を明確にし、税負担を公平にするほか、公共事業の円滑な実施や土地利用計画の策定、災害の際の円滑な復興などに必要な基礎資料となるものである。
手段	公共基準点を利用した測量や、土地所有者の立会いにより、毎筆の土地の境界・面積・所有者・地目及び地番を明確にする。 実施済区域における成果資料の提供及び修正登記業務。
その他	工程記号の説明 C=地籍図根三角測量 D=地籍図根多角測量 E=一筆地調査 F I =細部図根測量 F II-1=一筆地測量 F II-2=地籍図原図作成 G=地積測定 H=閲覧・地籍図複図及び地籍簿の作成

【コスト】 (単位：千円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	38,471	52,327	55,985	46,175	0	0	0
事業費	27,149	52,327	55,985	46,175	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	15,551	34,033	18,386	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	11,598	18,294	37,699	46,175	0	0	0
人件費計	11,322	0	0	0	0	0	0
一般職員(人)	1.50	1.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-01-01-04-01-00-00	地籍調査事業	建設部管理課

事務事業評価シート2

評価年度 令和4年度 進捗区分 2次評価
所属 4510000 建設部管理課
短縮番号 00345 地籍調査事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
実施面積(着手済)	km ²	0.34 0.34	0.37 0.37	0.16 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
成果管理面積	km ²	0.25 0.00	0.34 0.12	0.35 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
送付遅延地区解消(換算面積での割合)	%	56.41 56.41	56.41 59.45	89.18 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク	
1	事中評価	事業の優先度	5 他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3 どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2 目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
2	事中評価	事業の必要性	5 市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	2
			4 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
3	事中評価	事業主体の妥当性	5 他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし	4
			4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
4	事中評価	事業の対象者	5 直接の対象は、すべての市民又は団体である	2
			4 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
5	事中評価	市民ニーズの把握	5 事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している	5
			4 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している	
			3 事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	

【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性
1次コメント(400文字)	補助金は、実施予定地区を市街化調整区域から市街化区域に移行する見込みであることから、要望額に近い額の補助金の交付が見込める。 人件費等の上昇に加え、法務局へ未送付となっている妻沼小島地区の地籍調査成果の登記を行うための調査を実施するため、昨年同様の予算を見込んでいる。妻沼小島地区は7年度で登記準備作業が完了する見込みとした。妻沼小島地区は一度補助金を利用して調査を行っているため、国や県の補助金は再度交付されない。 地籍測量においても順次認められ始めている最新技術の積極的な利用により、経費の抑制につながっている。	

【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性
2次コメント(400文字)		

事務事業評価シート1

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価

所属 4510000 建設部管理課
短縮番号 00440 道路管理経費

【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画			
政策	006	快適で暮らしやすいまち			
政策達成課題	001	安全で快適な魅力あるまちをつくる			
施策	002	暮らしやすく、個性あるまちづくりを推進する			
施策達成課題	001	暮らしやすく、個性あるまちづくりを推進する			
基本事務事業	015	道路管理経費			
詳細事務事業	001	道路管理経費			

事業期間	平成25年度～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	2	事業の分類	法定事務		

根拠法令等	
課題・分析	

【事業分析】

対象	市民
目的	道水路の適正かつ円滑な維持管理を図る
手段	道路台帳の維持管理、道路等敷地の土地借上、購入、官民境界の確認事務を行う
その他	道路台帳修正、官民境界確認等の業務委託や、道路敷地の借上、未登記の道路敷地の土地購入など、道水路の財産管理業務に要する経費

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	220,981	215,508	59,468	71,849	0	0	0
事業費	47,377	40,984	59,468	71,849	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	40,984	59,468	0	0	0	0
一般財源	47,377	0	0	71,849	0	0	0
人件費計	173,604	174,524	0	0	0	0	0
一般職員(人)	23.00	23.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-02-02-02-01-00-00	道路管理経費	建設部管理課

事務事業評価シート2

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価

所属 4510000 建設部管理課
短縮番号 00440 道路管理経費

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値							下段：実績値
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク	
1	事中評価	事業の優先度	5 5 他事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4 4 今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3 3 どちらかといえば、実施したほうがよい	
			2 2 目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
			1 1 事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
2	事中評価	事業の必要性	5 5 市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
			4 4 安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3 3 安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
			2 2 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
			1 1 市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
3	事中評価	事業主体の妥当性	5 5 他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし	4
			4 4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3 3 他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
			2 2 本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
			1 1 本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
4	事中評価	事業の対象者	5 5 直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4 4 直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3 3 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
			2 2 直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
			1 1 直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
5	事中評価	市民ニーズの把握	5 5 事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している	3
			4 4 事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している	
			3 3 事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
			2 2 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
			1 1 事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	

【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性
1次コメント (400文字)		

【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性
2次コメント (400文字)		

事務事業評価シート1

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
所属 4010000 都市整備部都市計画課
短縮番号 00850 景観形成事業

【基本情報】	
計画回数	04 第二次総合振興計画／後期基本計画
政策	006 快適で暮らしやすいまち
政策達成課題	002 熊谷らしい景観を守り、つくり、育てる
施策	001 熊谷らしい都市景観をつくり、歴史、田園景観を守る
施策達成課題	001 熊谷らしい都市景観をつくり、歴史、田園景観を守る
基本事務事業	002 景観形成事業
詳細事務事業	001 景観形成事業

事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		

根拠法令等	景観法、熊谷市景観計画及び熊谷市景観条例、屋外広告物法及び熊谷市屋外広告物条例
課題・分析	景観計画、景観条例に基づく届出及び屋外広告物条例に基づく許可申請に対する審査、助言を行った。 また、景観意識を高めるため景観写真展を開催した。 景観意識をより高め活発な活動を促すための施策についても考える必要性を感じている。

【事業分析】	
対象	市民及び事業者
目的	景観計画及び景観条例に基づく届出に対する審査・助言及び市民、事業者・団体に対して指導・意識啓発等を行うことにより、市民が美しいと思う景観の形成誘導を図る。 また、屋外広告物条例に基づく許可申請に対する審査・指導等を行い、景観形成を誘導する。
手段	届出が景観形成基準に適合するか審査・助言を行うとともに、地区の魅力ある景観形成を目的とした活動団体等を支援する。 また、屋外広告物条例に基づく許可申請が審査基準等に適合するか審査・助言を行う。
その他	景観審議会の開催

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		9,523	12,110	233	585	0	0	0
事業費		88	121	233	585	0	0	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0
一般財源		88	121	233	585	0	0	0
人件費計		9,435	11,989	0	0	0	0	0
一般職員(人)		1.25	1.58	1.42	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-04-01-17-01-00-00	景観形成事業	都市整備部都市計画課

事務事業評価シート2

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
所属 4010000 都市整備部都市計画課
短縮番号 00850 景観形成事業

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
熊谷市の景観を美しいと思う市民の割合	%	53.00 44.20	53.00 51.10	55.00 0.00	55.00 0.00	55.00 0.00	55.00 0.00	55.00 0.00
住み続けたいと思う市民の割合	%	55.70 46.30	55.70 44.30	55.70 0.00	55.70 0.00	55.70 0.00	55.70 0.00	55.70 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】		カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
			4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
			3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
		2	目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり		
		1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した		
	理由				
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	2
			4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
			3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
		2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである		
		1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する		
	理由				
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし	4
			4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
			3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
		2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る		
		1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る		
	理由				
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
			4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
			3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
		2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である		
		1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である		
	理由				
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している	4
			4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している	
			3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
		2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している		
		1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない		
	理由				

【1次評価結果】		現状維持	予算の方向性
事業の方向性		屋外広告物条例の施行規則改正等に併い、平成31年3月発行のガイドラインを修正し製本する。	
1次コメント(400文字)			

【2次評価結果】		現状維持	予算の方向性
事業の方向性			
2次コメント(400文字)			

事務事業評価シート1

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価

所属 4520000 建設部道路課

短縮番号 00474 道路整備事業

【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画		
政策	006	快適で暮らしやすいまち		
政策達成課題	003	機能的で安全な道路を整備する		
施策	001	生活道路の整備を進める		
施策達成課題	001	生活道路の整備を進める		
基本事務事業	006	道路整備事業		
詳細事務事業	001	道路整備事業		

事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		

根拠法令等	道路法				
課題・分析	道路整備延長は目標値に近づいているが、要望件数に対して整備完了件数が追いつかず整備率が上がらない状況である。				

【事業分析】

対象	狭あい道路の利用者				
目的	道路冠水の防止、交通安全の確保、生活排水の処理先の確保による良好な生活環境の整備。				
手段	陳情や要望に基づく側溝整備や舗装新設等の工事				
その他	平成20年度から、熊谷市道路事業評価システムにより公平かつ効果的に事業を実施している。				

【コスト】

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	373,399	449,012	449,650	482,102	0	0	0
事業費	309,241	396,579	449,650	482,102	0	0	0
国庫支出金	34,613	82,653	30,730	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	274,628	313,926	418,920	482,102	0	0	0
人件費計	64,158	52,433	0	0	0	0	0
一般職員(人)	8.50	6.91	7.66	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-02-03-03-01-00-00	道路整備事業	建設部道路課

事務事業評価シート2

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価

所属 4520000 建設部道路課

短縮番号 00474 道路整備事業

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値							下段：実績値
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	
道路整備延長	m	3,000.00	3,000.00	3,000.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		2,488.00	2,808.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

1	事中評価	カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
				5	1	
1	事中評価	事業の優先度	5	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
				4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
				3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
				2	目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
				1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
2	事中評価	事業の必要性	5	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	3
				4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
				3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
				2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
				1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	5
				4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
				3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
				2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
				1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
4	事中評価	事業の対象者	5	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
				4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
				3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
				2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
				1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している	3
				4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している	
				3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
				2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
				1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	

【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント (400文字)			

【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント (400文字)			

事務事業評価シート1

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 4530000 建設部維持課
 短縮番号 00475 橋りょう整備事業

【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画		
政策	006	快適で暮らしやすいまち		
政策達成課題	003	機能的で安全な道路を整備する		
施策	001	生活道路の整備を進める		
施策達成課題	001	生活道路の整備を進める		
基本事務事業	007	橋りょう整備事業		
詳細事務事業	001	橋りょう整備事業		

事業期間	平成25年度～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	補助	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄	2	事業の分類	法定事務		

根拠法令等	道路法第42条				
課題・分析	橋りょう定期点検により健全度Ⅲと判定された橋りょうについては、点検から5年以内に必要措置を講じなければならぬ。 (H26～H30年度橋りょう定期点検健全度Ⅲ判定 道路橋35橋、横断歩道橋2橋) (R1～R5年度(予定)橋りょう定期点検健全度Ⅲ判定 道路橋2橋、横断歩道橋3橋【令和5年3月末】)				

【事業分析】

対象	橋りょうの利用者				
目的	大規模な改修工事が必要となる前に補修を行い、橋りょうの機能を維持することで、利用者の安全確保と経費削減を図る。				
手段	橋りょうの定期点検及び補修・修繕工事				
その他					

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	121,669	325,409	251,000	277,454	0	0	0
事業費	109,895	310,145	251,000	277,454	0	0	0
国庫支出金	39,997	101,355	79,530	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	69,898	208,790	171,470	277,454	0	0	0
人件費計	11,774	15,264	0	0	0	0	0
一般職員(人)	1.56	1.87	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員(人)	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-02-04-03-01-00-00	橋りょう整備事業	建設部維持課

事務事業評価シート2

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 4530000 建設部維持課
 短縮番号 00475 橋りょう整備事業

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値							下段：実績値
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	
橋りょう定期点検数	橋	240.00	240.00	240.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
横断歩道橋定期点検	橋	0.00	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

1	事中評価	カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
				5	4	
1	事中評価	事業の優先度	5	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
				4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
				3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
				2	目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
				1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
2	事中評価	事業の必要性	5	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
				4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
				3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
				2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
				1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	5	他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし	4
				4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
				3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
				2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
				1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
4	事中評価	事業の対象者	5	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
				4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
				3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
				2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
				1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している	2
				4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している	
				3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
				2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
				1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	

【1次評価結果】

事業の方向性	事業拡大	予算の方向性
1次コメント(400文字)	道路法に基づく橋梁及び道路構造物(横断歩道橋)の点検を実施し、橋梁長寿命化修繕計画に基づく橋梁修繕事業と点検結果による補修工事を実施する。	

【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性
2次コメント(400文字)		

事務事業評価シート1

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 4530000 建設部維持課
 短縮番号 00469 道路維持経費

【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画		
政策	006	快適で暮らしやすいまち		
政策達成課題	003	機能的で安全な道路を整備する		
施策	001	生活道路の整備を進める		
施策達成課題	001	生活道路の整備を進める		
基本事務事業	009	道路維持経費		
詳細事務事業	001	道路維持経費		

事業期間	平成25年度～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄	2	事業の分類	法定事務		

根拠法令等	道路法第42条				
課題・分析	適正な施工規模や工事発注時期の設定、施工業者との調整によりコスト削減を図っている。 管理施設の移管等により、対象施設は年々増加している。 主に道路補修や除草に対する要望が増加し、苦情は排水対策などが多くなっている。				

【事業分析】

対象	道路の利用者				
目的	市内の市道を常時良好な状態で維持管理し、円滑な道路交通を確保する。				
手段	直営補修、外注補修、管理・保守・点検委託等				
その他					

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	620,136	741,875	948,009	1,159,107	0	0	0
事業費	477,932	600,347	948,009	1,159,107	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	360	0	0	0	0	0
地方債	0	74,077	0	0	0	0	0
その他	5,324	5,469	754	0	0	0	0
一般財源	472,608	520,441	947,255	1,159,107	0	0	0
人件費計	142,204	141,528	0	0	0	0	0
一般職員(人)	18.84	18.51	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員(人)	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-02-02-03-01-00-00	道路維持経費	建設部維持課

事務事業評価シート2

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 4530000 建設部維持課
 短縮番号 00469 道路維持経費

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値							下段：実績値
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	
補修作業発注件数	件	200.00	200.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		96.00	95.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
除草面積	m	350,000.00	350,000.00	350,000.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		336,717.80	324,960.62	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

1	事中評価	カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
				5	4	
1	事中評価	事業の優先度	5	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
				4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
				3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
				2	目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
				1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由					
2	事中評価	事業の必要性	5	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
				4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
				3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
				2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
				1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由					
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	5	他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし	4
				4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
				3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
				2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
				1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由					
4	事中評価	事業の対象者	5	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
				4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
				3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
				2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
				1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由					
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している	4
				4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している	
				3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
				2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
				1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由					

【1次評価結果】

事業の方向性	事業拡大	予算の方向性	
1次コメント(400文字)	既設道路施設の維持修繕が重要となっており、ライフサイクルコストの低減を図り、道路施設の延命化を考慮した整備を推進する。		

【2次評価結果】

事業の方向性	事業拡大	予算の方向性	
2次コメント(400文字)			

事務事業評価シート1

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 4520000 建設部道路課
 短縮番号 01860 通学路整備事業

【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画		
政策	006	快適で暮らしやすいまち		
政策達成課題	003	機能的で安全な道路を整備する		
施策	002	通学路の交通安全対策を進める		
施策達成課題	001	通学路の交通安全対策を進める		
基本事務事業	002	通学路整備事業		
詳細事務事業	001	通学路整備事業		

事業期間	令和 4年度 ~ 令和 7年度	4 年間			
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	補助	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄		事業の分類			

根拠法令等	道路法
課題・分析	久保島地内における玉井小・玉井中の通学路の安全確保が図られる。

【事業分析】

対象	玉井小学校の児童及び玉井中学校の生徒
目的	通学路の安全確保
手段	用地買収及び工事
その他	

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	0	6,006	22,415	100,015	82,693	0	0
事業費	0	6,006	22,415	100,015	82,693	0	0
国庫支出金	0	0	0	50,012	41,382	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	6,006	22,415	50,003	41,311	0	0
人件費計	0	0	0	0	0	0	0
一般職員 (人)	0.00	1.17	2.25	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称

事務事業評価シート2

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 4520000 建設部道路課
 短縮番号 01860 通学路整備事業

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値							下段：実績値
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	
事業進捗率【累計】	%	0.00	0.00	0.00	35.00	100.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

1	事中評価	カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
				5	4	
1	事中評価	事業の優先度	5	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
				4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
				3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
				2	目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
				1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
2	事中評価	事業の必要性	5	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
				4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
				3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
				2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
				1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	5
				4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
				3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
				2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
				1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
4	事中評価	事業の対象者	5	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
				4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
				3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
				2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
				1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している	1
				4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している	
				3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
				2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
				1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	

【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント (400文字)	令和6年度は、引き続き用地買収等を進め工事に着手する。		

【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント (400文字)			

事務事業評価シート1

評価年度 令和4年度 進捗区分 2次評価
 所属 4510000 建設部管理課
 短縮番号 01692 道路空洞調査事業

【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画			
政策	006	快適で暮らしやすいまち			
政策達成課題	003	機能的で安全な道路を整備する			
施策	003	幹線道路を計画的に整備する			
施策達成課題	001	幹線道路を計画的に整備する			
基本事務事業	016	道路空洞調査事業			
詳細事務事業	001	道路空洞調査事業			

事業期間	平成31年度～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄		事業の分類			

根拠法令等	
課題・分析	市道の延長は、現在2,400kmにおよんでおり、市道全域の空洞化調査を実施することは非常に難しい。よって、緊急輸送路である幹線等で下水道幹線など埋設されている箇所について実施する。今後については、道路管理取組で保険対応となった路線等を中心に実施していくこととする。

【事業分析】

対象	①道路陥没事故が発生した場合に大きな影響がある幹線であること ②災害時の救援活動に不可欠である緊急輸送路であること ③下水道幹線が埋設されている箇所であること
目的	市道の空洞化調査を行い、路面下の安全性を確認する。
手段	路面下空洞探査車を用いて地中レーダー探査実施を行う。
その他	市道の空洞化調査における一次調査を実施し、路面下の状況によっては、詳細な調査を実施するか、緊急に修繕を行う必要があるかを確認する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	3,889	3,976	3,900	3,900	0	0	0
事業費	3,135	3,218	3,900	3,900	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	3,135	3,218	3,900	3,900	0	0	0
人件費計	754	758	0	0	0	0	0
一般職員(人)	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称

事務事業評価シート2

評価年度 令和4年度 進捗区分 2次評価
 所属 4510000 建設部管理課
 短縮番号 01692 道路空洞調査事業

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値							下段：実績値
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
		5	4	
1 事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	3
		4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
		3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
		2	目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
		1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
理由				
2 事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
		4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
		3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
		2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
		1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
理由				
3 事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし	4
		4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
		3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
		2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
		1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
理由				
4 事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
		4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
		3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
		2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
		1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
理由				
5 事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している	2
		4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している	
		3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
		2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
		1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
理由				

【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント (400文字)			

【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント (400文字)			

事務事業評価シート 1

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 4520000 建設部道路課
 短縮番号 01482 籠原駅南口線道路改良事業

【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画	
政策	006	快適で暮らしやすいまち	
政策達成課題	003	機能的で安全な道路を整備する	
施策	003	幹線道路を計画的に整備する	
施策達成課題	001	幹線道路を計画的に整備する	
基本事務事業	014	籠原駅南口線道路改良事業	
詳細事務事業	001	籠原駅南口線道路改良事業	

事業期間	平成27年度～令和7年度	11年間			
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	臨時
事業主体	市	補助単独区分	補助	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄		事業の分類			

根拠法令等 道路法、都市計画法
 平成27年度に地元説明会及び現況測量を実施し、地元住民からは早期の事業完了が望まれている。

課題・分析

【事業分析】

対象	都市計画道路籠原駅南口線（市道125号線）の利用者
目的	籠原駅へのアクセシビリティ・利便性の向上、児童・生徒の安全な通学の確保。
手段	用地買収及び工事を行うことによる。
その他	事業期間 平成27年度～令和7年度 延長L=約820m、幅員W=16.0m

【コスト】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	352,881	140,422	56,300	151,500	0	0	0
事業費	330,313	128,054	56,300	151,500	0	0	0
国庫支出金	171,219	63,739	19,250	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	131,100	56,400	29,200	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	27,994	7,915	7,850	151,500	0	0	0
人件費計	22,568	12,368	0	0	0	0	0
一般職員（人）	2.99	1.63	0.92	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-04-03-13-01-00-00	籠原駅南口線道路改良事業	建設部道路課

事務事業評価シート 2

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 4520000 建設部道路課
 短縮番号 01482 籠原駅南口線道路改良事業

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値							下段：実績値
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
事業進捗率【累計】	%	60.00	70.00	75.00	90.00	100.00	0.00	0.00	
		59.00	65.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

【定性評価】

1	事中評価	カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
				5	4	
1	事中評価	事業の優先度	5	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
				4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
				3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
				2	目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
				1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由					
2	事中評価	事業の必要性	5	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
				4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
				3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
				2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
				1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由					
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
				4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
				3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
				2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
				1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由					
4	事中評価	事業の対象者	5	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
				4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
				3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
				2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
				1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由					
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している	3
				4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している	
				3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
				2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
				1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由					

【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
1次コメント (400文字)	令和5年度は、道路改良工事を行っていく。		

【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント (400文字)			

事務事業評価シート1

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 4520000 建設部道路課
 短縮番号 01751 池上地区「道の駅」関連道路整備事業

【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画	
政策	006	快適で暮らしやすいまち	
政策達成課題	003	機能的で安全な道路を整備する	
施策	003	幹線道路を計画的に整備する	
施策達成課題	001	幹線道路を計画的に整備する	
基本事務事業	017	池上地区「道の駅」関連道路整備事業	
詳細事務事業	001	池上地区「道の駅」関連道路整備事業	

事業期間	令和 2年度 ~ 令和 8年度	7 年間			
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	補助	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄		事業の分類			

根拠法令等	道路法
課題・分析	東部地域に整備を計画している仮称道の駅「くまがや」へのアクセス強化が図られる。

【事業分析】

対象	池上地区「道の駅」関連道路
目的	仮称道の駅「くまがや」のアクセス道路
手段	新設道路整備
その他	

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	0	33,281	30,063	134,947	185,500	140,000	0
事業費	0	17,423	30,063	134,947	185,500	140,000	0
国庫支出金	0	0	3,325	0	92,750	70,000	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	17,423	26,738	134,947	92,750	70,000	0
人件費計	0	15,858	0	0	0	0	0
一般職員(人)	0.00	2.09	2.75	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-02-03-41-01-00-00	池上地区「道の駅」関連道路整備事業	建設部道路課

事務事業評価シート2

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 4520000 建設部道路課
 短縮番号 01751 池上地区「道の駅」関連道路整備事業

【定量評価】

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
事業進捗率【累計】	%	0.00	0.00	0.00	0.00	52.00	100.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

1	事中評価	カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
				5	4	
1	事中評価	事業の優先度	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
				4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
				3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
				2	目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
				1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由					
2	事中評価	事業の必要性	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	4
				4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
				3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
				2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
				1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由					
3	事中評価	事業主体の妥当性	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし	5
				4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
				3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
				2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
				1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由					
4	事中評価	事業の対象者	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
				4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
				3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
				2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
				1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由					
5	事中評価	市民ニーズの把握	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している	1
				4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している	
				3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
				2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
				1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由					

【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
	令和6年度は、引き続き用地買収等を進める。		
1次コメント(400文字)			

【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性	
2次コメント(400文字)			

事務事業評価シート1

評価年度 令和4年度 進捗区分 2次評価
 所属 1010000 総合政策部企画課
 短縮番号 00974 総合交通体系整備促進事業

【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画		
政策	006	快適で暮らしやすいまち		
政策達成課題	004	利便性の高い公共交通を推進する		
施策	001	持続可能で効率的な交通ネットワークを構築する		
施策達成課題	001	持続可能で効率的な交通ネットワークを構築する		
基本事務事業	001	総合交通体系整備促進事業		
詳細事務事業	001	総合交通体系整備促進事業		

事業期間	～				
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		

根拠法令等	道路運送法地域公共交通の活性化及び再生に関する法律
課題・分析	<p>ゆうゆうバスは、交通不便地域への対応、高齢者の免許返納対策に重要である。そこで、令和元年度のグライダーワゴン、バスロケーションシステム導入に続き、令和2年度は、ゆうゆうバス「くまびあ号」（熊谷駅～くまびあ～奈良、玉井地域～籠原駅路線）が運行を開始、令和3年度は障害者手帳アプリ「ミライロID」を導入し、利便性向上を図った。令和4年度は平成27年度に策定した「熊谷市地域公共交通網形成計画」が最終年度となったため、令和2年度に改正された「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」を踏まえ、公共交通のマスタープランとなる「熊谷市地域公共交通計画」を策定した。</p>

【事業分析】

対象	市民及び来訪者
目的	路線バスとの適切な役割分担のもと、本市の公共交通体系の整備・充実を図る。
手段	本市では、鉄道、路線バス及びゆうゆうバスなどの公共交通が連携した利便性の高い公共交通ネットワークの再編を目指す「熊谷市地域公共交通網形成計画」に基づき、計画的に事業を実施している。事業実施の際には、市民、事業者、国、県、公安関係者等で構成されている「熊谷市地域公共交通会議」の場において審議している。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 地域公共交通のあるべき姿を審議する「地域公共交通会議」の開催 ゆうゆうバス事業者への運行補助の実施

【コスト】

	(単位：千円)						
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	124,939	153,095	156,329	185,079	0	0	0
事業費	115,052	147,253	156,329	185,079	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	1,826	1,913	2,000	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	113,226	145,340	154,329	185,079	0	0	0
人件費計	9,887	5,842	0	0	0	0	0
一般職員(人)	1.31	0.77	1.89	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-02-01-07-06-01-00-00	総合交通体系整備促進事業	総合政策部企画課

事務事業評価シート2

評価年度 令和4年度 進捗区分 2次評価
 所属 1010000 総合政策部企画課
 短縮番号 00974 総合交通体系整備促進事業

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値							下段：実績値
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
公共交通に満足している市民の割合	%	50.00 43.70	50.00 41.80	50.00 0.00	50.00 0.00	50.00 0.00	50.00 0.00	50.00 0.00	
ゆうゆうバス利用者数	人	250,000.00 201,422.00	250,000.00 222,217.00	250,000.00 0.00	250,000.00 0.00	250,000.00 0.00	250,000.00 0.00	250,000.00 0.00	
		0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
		5	4	
1 事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	4
		4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
		3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
		2	目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
		1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
理由	市民及び来訪者の移動手段の維持・確保のため。			
2 事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	3
		4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
		3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
		2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
		1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
理由	市民及び来訪者の移動手段の維持・確保のため。			
3 事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	4
		4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
		3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
		2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
		1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
理由	民間路線バスでは採算が取れない路線のため。			
4 事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5
		4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
		3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
		2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
		1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
理由	市民及び来訪者に広く利用いただいている。			
5 事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している	3
		4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している	
		3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
		2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
		1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
理由	バス停設置要望等を受け、適宜ルートの見直しを行っている。			

【1次評価結果】

事業の方向性	事業拡大	予算の方向性	
1次コメント (400文字)	令和5年度にはスマホバス回数券やゆうゆうバスのオープンデータ化を実施する。令和6年度にはスマホバス回数券の改善（乗車データに加え、降車データも取得）やオープンデータ化の活用により利用促進を図るとともに、今後人口減少や高齢化の進行が更に加速することが予想される本市において、移動手段の確保維持と利便性向上を図るため、MaaSの導入を検討する。		

【2次評価結果】

事業の方向性	事業拡大	予算の方向性	
2次コメント (400文字)			

事務事業評価シート1

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 4030000 都市整備部公園緑地課
 短縮番号 00950 公園サポーター制度推進事業

【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画	
政策	006	快適で暮らしやすいまち	
政策達成課題	005	親しみある魅力的な公園を創出する	
施策	001	特性を生かした魅力的な都市公園を創出する	
施策達成課題	001	特性を生かした魅力的な都市公園を創出する	
基本事務事業	005	公園サポーター制度推進事業	
詳細事務事業	001	公園サポーター制度推進事業	

事業期間	平成21年度～				
新規継続区分	継続	経費区分	経常経費	経常臨時区分	臨時
事業主体	市	補助単独区分	単独	ハードソフト	ソフト事業
企画課使用欄	1	事業の分類	法定事務		

根拠法令等	熊谷市公園サポーター制度実施要領				
課題・分析	公園サポーター制度への加入について、自治会や利用団体等へ働きかけた結果、前年度に比べ導入数は増えたが、公園数も増えたため加入率は微減となった。高齢化によって継続が困難な自治会も増えており、加入率の向上や活動の活性化を図るため、報償金の増額だけではなく、新たな支援策について検討する必要がある。				

【事業分析】

対象	公園サポーター制度				
目的	住民と行政が協働で快適な公園環境の維持・保全を図るため、公園サポーター制度の導入を推進する。				
手段	公園の除草や清掃等の管理・美化活動に対し、備品や報償金を支給する。また、緑化・花いっぱい活動等に対しても支援する。				
その他	公園サポーター制度の導入を推進する。				

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	21,257	22,302	15,937	16,569	0	0	0
事業費	13,709	14,714	15,937	16,569	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	13,709	14,714	15,937	16,569	0	0	0
人件費計	7,548	7,588	0	0	0	0	0
一般職員(人)	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-08-04-05-25-01-00-00	公園サポーター制度推進事業	都市整備部公園緑地課

事務事業評価シート2

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 4030000 都市整備部公園緑地課
 短縮番号 00950 公園サポーター制度推進事業

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値							下段：実績値
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	
公園サポーター制度導入割合	%	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
		75.60	75.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

1	事中評価	カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
				5	4	
1	事中評価	事業の優先度	5	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5
				4	今後しばらくの間、継続して実施する必要がある	
				3	どちらかといえば、実施したほうがよい	
				2	目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり	
				1	事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した	
	理由					
2	事中評価	事業の必要性	5	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	3
				4	安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである	
				3	安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである	
				2	豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	
				1	市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する	
	理由					
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	5	他に同種・類似サービスを提供している主体(官民不問)なし	4
				4	他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ	
				3	他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している	
				2	本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る	
				1	本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る	
	理由					
4	事中評価	事業の対象者	5	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	3
				4	直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体	
				3	直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である	
				2	直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である	
				1	直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である	
	理由					
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している	3
				4	事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している	
				3	事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している	
				2	事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	
				1	事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない	
	理由					

【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性
1次コメント (400文字)		

【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性
2次コメント (400文字)		

事務事業評価シート1

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 4030000 都市整備部公園緑地課
 短縮番号 01690 都市公園複合遊具更新事業

【基本情報】

計画回数	04	第二次総合振興計画／後期基本計画	
政策	006	快適で暮らしやすいまち	
政策達成課題	005	親しみある魅力的な公園を創出する	
施策	001	特性を生かした魅力的な都市公園を創出する	
施策達成課題	001	特性を生かした魅力的な都市公園を創出する	
基本事務事業	021	都市公園複合遊具更新事業	
詳細事務事業	001	都市公園複合遊具更新事業	

事業期間	令和 2年度 ~ 令和 6年度	5 年間			
新規継続区分	継続	経費区分	政策経費	経常臨時区分	経常
事業主体	市	補助単独区分	補助	ハードソフト	ハード事業
企画課使用欄		事業の分類			

根拠法令等	都市公園法、同施行令、同施行規則、熊谷市都市公園条例、同施行規則
課題・分析	大型の複合遊具は古いもので昭和46年に設置されており、近年、急速に老朽化が進む中で効率的な維持管理を徹底していく必要がある。 安全で快適な利用を確保するため、計画的な更新を的確に行う必要がある。

【事業分析】

対象	市民（公園利用者）
目的	子どもたちが安全で安心して利用できる公園を目指し、市内の老朽化した複合遊具の更新整備を進めていく。
手段	令和2年度に策定した長寿命化計画により、複合遊具の更新整備を進めていく。 更新時期については、緊急性を考慮し優先順位を決定する。
その他	

【コスト】

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	43,441	39,803	84,000	81,960	0	0	0
事業費	35,893	32,215	84,000	81,960	0	0	0
国庫支出金	16,600	14,300	29,000	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	19,293	17,915	55,000	81,960	0	0	0
人件費計	7,548	7,588	0	0	0	0	0
一般職員（人）	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度嘱託職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度補助職員（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称

事務事業評価シート2

評価年度 令和 4年度 進捗区分 2次評価
 所属 4030000 都市整備部公園緑地課
 短縮番号 01690 都市公園複合遊具更新事業

【定量評価】

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
		3.00	4.00	6.00	6.00	0.00	0.00	0.00
更新遊具数	基	3.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

1	事中評価	カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
				5	4	
1	事中評価	事業の優先度	5	他の事務事業に優先して実施する必要がある	5	5
				今後しばらくの間、継続して実施する必要がある		
				どちらかといえば、実施したほうがよい		
				目的のある程度達成しており、実施の有無について検討の余地あり		
				事業開始時と比較し実施意義が大きく低下、又は、目的が達成した		
理由						
2	事中評価	事業の必要性	5	市民又は団体の生命・財産・権利の保障に不可欠なサービスである	5	3
				安全・安心・健康な市民生活の実現に不可欠なサービスである		
				安全・安心・健康な市民生活の水準維持に役立つサービスである		
				豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである		
				市民生活の余暇・レクリエーション活動等の充実に寄与する		
理由						
3	事中評価	事業主体の妥当性	5	他に同種・類似サービスを提供している主体（官民不問）なし	5	4
				他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみ		
				他の公共団体では民間団体が同種・類似サービスを提供している		
				本市で民間団体等が同種サービスを提供しているが、質量共に劣る		
				本市で民間団体等が同種サービスを提供しており、質量共に勝る		
理由						
4	事中評価	事業の対象者	5	直接の対象は、すべての市民又は団体である	5	5
				直接の対象は、特定属性の広く一般の不特定多数の市民又は団体		
				直接の対象は、特定属性の特定多数の市民又は団体である		
				直接の対象は、特定属性の一部の市民又は団体である		
				直接の対象は、自ら希望する一部の市民又は団体である		
理由						
5	事中評価	市民ニーズの把握	5	事業規模や方法は、対象者等の大幅拡大のニーズにより見直している	5	3
				事業規模や方法は、対象者等の拡大傾向のニーズにより見直している		
				事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズにより見直している		
				事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している		
				事業規模や方法は、過去を踏襲しており、特に見直していない		
理由						

【1次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性
1次コメント (400文字)		

【2次評価結果】

事業の方向性	現状維持	予算の方向性
2次コメント (400文字)		